

カワウの保護管理に関する成果と課題について

成果 1 :

個体群管理や生息環境管理の事例が積み重ねられた
個体群管理に2つの新たな手法が見出された

- ・徹底した見回りによる防除対策の実施によって、被害が縮小した地域がある。
- ・魚の隠れ場所の設置による被害軽減の効果の検証が行われ、実施地域が増えた。
- ・山梨県ではビニールテープによる新規ねぐらの成立を阻止しており、コロニーを1箇所限定することで、モニタリングや繁殖抑制などの管理の効率化が図られている。
- ・ねぐら・コロニーの場所を被害地から遠ざけることで、漁業被害を軽減させた地域がある。
- ・滋賀県ではエアライフルを用いた専門部隊による高度な捕獲が行われており、個体数の大幅な削減が進んでいる。

課題

- 現行のマニュアルには個体群管理や生息環境管理について、最新の事例が盛り込まれておらず、踏み込んだ記載がされていないため、改訂が必要である。
- 簡便なねぐら除去技術と、高効率な捕獲技術が確立したことにより、包括的な個体群管理の方向性が見えてきたが、これらの手法はどこでも通用するものではなく、どのような場所や時期であれば有効に機能するのか一定の条件を示す必要があるとともに、科学的計画的な判断と実行ができる実施体制の整備が必要である。
- 保護管理計画を検討し、対策をより効果的、効率的に改善していくには、必要な情報を収集し、利用することが重要であることを正しく理解する必要がある。
 - ・個体群管理を効果的、効率的に行うためにどのような対策を行うべきか、検討するための基礎的なデータの収集が十分でない。
 - ・対策効果を的確に把握・モニタリングし、対策の改善や普及を行うプロセスが十分整っていない。
- 生息環境管理はカワウ問題の根本的な解決への糸口であるが、事例の積み重ねが不足しており、さらなる推進が必要である。

成果 2 :

関東と中部近畿において広域協議会が設立した

- ・関東地区(11 都県)、中部近畿地区(15 府県)で広域協議会が設立。広域保護管理指針が作成され、各都府県に協議会や情報共有の体制が作られた。これによって、鳥獣行政、水産行政、河川行政のほか、内水面漁業関係団体や自然保護団体による横のつながりが形成された。
- ・継続的なモニタリング体制の整備や各種情報の集約、情報の共有が図られてきた。
- ・関東では、広域一体的な対策として毎年4月の10日間について、関係する漁協が一斉にカワウ対策を行なう、「一斉追い払い」が実施され、カワウの飛来数の減少効果が得られている。

課題

- 関東の広域協議会では平成22年4月、中部近畿の広域協議会では平成24年4月に行政機関主体の協議会へと体制が変更されたが、各都府県内部の連絡体制も弱体化しているところがみられ、体制の立て直しが必要である。

- 生息状況のモニタリングが実施できない都府県があり、カワウの生息状況の全体像が掴めない状態にある。
- 一斉追い払いの効果については、一時的であるとの批判があり、一斉追い払い期間後もアユの解禁まで継続して対策を実施するなど、実施手法の再検討が必要である。
- 被害状況のモニタリング方法が統一されていないため、対策によって被害が減っているのかどうか評価できない状況にある。別途モニタリング方法を確立することが望ましい。
- 被害状況等の違いにより、関係都府県の意識に温度差がある。

成果3：

特定鳥獣保護管理計画やそれに準じる任意計画が策定された

- ・ 福島県、滋賀県で特定計画が、栃木県、山梨県、静岡県で任意計画が策定された。
- ・ 福島県と滋賀県が特定計画にもとづく数の調整を掲げている。
- ・ 福島県や静岡県などの計画では、漁協単位など地域ごとにどのような対策をいつ実施するのかが具体的に記載されたものが作られている。

課題

- 取り組みが行われている都府県数に比べ、計画を策定している都道府県が少ない
- ・ 生計や生命に直結する被害が多い哺乳類が優先される傾向にある。
- ・ ニーズが増大する野生鳥獣の保護管理にあっても、都道府県の予算は縮小しており、計画を策定して運用するための人員と予算が不足している。

成果4：

カワウの保護管理の考え方や技術の教育・普及啓発と情報の共有が進んだ

- ・ カワウの保護管理に関する研修会がほぼ毎年開催されている。
- ・ カワウの対策の考え方や手法をまとめたパンフレットが多数発刊された。
- ・ Web サイト「カワウ保護管理ポータルサイト」において最新情報が発信されている。

課題

- 現場での対策に必ずしも有効に取り入れられていない
- ・ 場所ごとに異なる状況に応じた、柔軟な導入が必要。
- ・ 現場で被害と向き合う漁業者と、最新の情報や手法とをつなぐ担い手が少ない。